


带状疱疹ワクチン



任意接種助成開始のお知らせ

妹背牛町では、令和5年7月より50歳以上の方へ带状疱疹ワクチン接種費用の助成を開始します。

带状疱疹は、80歳までに3人に1人が発症と言われており、带状疱疹ワクチン（シングリックス）を接種することで、約9割以上の発症予防効果が期待できるとされています。

助成内容	<ul style="list-style-type: none">●対象者：<u>50歳以上(接種日年齢)</u>で、過去に接種したことのない方●助成が受けられる医療機関：<u>妹背牛診療所</u>●接種回数：2回(2か月の間隔をあける)●自己負担額：<u>1回につき 10,000円 × 2回 = 20,000円</u> (町からの助成額 10,350円×2回=20,700円)
接種の受け方	<ul style="list-style-type: none">●予約方法：妹背牛診療所(☎32-2475)に直接予約をしてください。●接種方法：妹背牛診療所に健康保険証またはマイナンバーカードを持参し、接種を受けて下さい。 窓口で、自己負担額をお支払いください。●その他：新型コロナワクチンを受ける場合は2週間以上間隔をあける必要があります。 

带状疱疹について、詳しくは裏面をご覧ください➡

【問合せ先】妹背牛町保健センター ☎32-2412 (直通)

带状疱疹



Q:带状疱疹って？

A:水ぼうそうにかかったことのある方は誰でも带状疱疹になる可能性があります。

水疱瘡が完治した後も体内にウイルスが残っていて、加齢やストレス、過労が引き金となって、免疫力が低下すると潜んでいたウイルスが再活動し、「带状疱疹」として発症します。

神経に沿って皮膚にピリピリ刺すような痛みと赤い斑点、水ぶくれが胸、背中、腹、顔面、下肢に带状に現れる病気です。60代を中心に50～70代の方に多くみられます



Q:合併症や後遺症はあるの？

A:水痘・带状疱疹ウイルスは、神経の流れに沿って障がいをおよぼすことがあり、視力の低下や難聴、腕が上がらなくなるなどの麻痺や、おしっこが出ない排尿障害などの合併症がみられることがあります。

また、通常、痛みは水疱や赤い発疹が治るとともに軽くなりますが、皮膚の症状が治まった後も長期間にわたって続く痛みを、带状疱疹後神経痛(PHN)といい、この後遺症は50歳以上の約2割の患者さんに起こると言われています。

Q:带状疱疹ワクチン(シングリックス)ってどんなもの？

A:病原性をなくしウイルスの一部のみを使用した「不活化ワクチン」です。2か月の間隔をおいて、2回の接種が必要です。

接種を受けることで、50歳以上で97%、70歳以上で91%の発症予防効果があり、10年後も80%を超える長期予防効果あるといわれています。後遺症の発症にも8割以上の予防効果があります。

副反応として、注射部位の痛みや腫れ、全身的な倦怠感、頭痛、筋肉痛、悪寒、発熱などがみられることがあります。

Q:以前、带状疱疹になったことがあります、ワクチンを接種できますか？

A:接種できます。1度带状疱疹になった人でも体の免疫力が低下すると再びなる可能性があり、ワクチン接種を受けることで発症予防効果が期待できます。

